

高 総 第 155 号

平成28年11月7日

ボランティアグループ

「高取町ご意見番」

代表幹事 中西 宏次 様

高取町長 植村 家忠



「高取町長への公開質問状」の回答について

平成28年10月24日付けで質問のあったことについて、下記のとおり回答します。

記

1. 壺阪山駅前整備の現況と進捗状況

壺阪山駅前整備については、平成24年度より地元協議会と一体となって、整備基本構想の策定を行い、平成25年度には測量及び実施設計の策定を行いました。

平成26年度には用地の買収を行うべく、地籍混乱地の解消に向けて関係者と交渉を重ねましたが、一部地権者において地図の訂正に対し承諾を得ることができず現在に至っております。

しかしながら、壺阪山駅前整備については、観光の町を目指す本町にとっては必要不可欠の事業であると認識しており、まず地籍の混乱地の解消に向けて法的手段も視野に入れながら進めていき、その進捗状況に合わせ国道169号改良工事の事業主体である奈良県とも協議を重ね、計画実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

事業は遅滞しているが、必ず実現させる方向で、不退転の決意を持って臨んでいます。

2. 最先端ガン医療施設誘致の進捗状況

高取町では、医療ツーリズムの推進による交流人口を増やすため、伝統的な漢方と最先端の医療を融合させた特色のある医学・医療の拠点づくりを目指しています。

その中で、先進医療施設の誘致については、事業が実現しても運営が安定しないで頓挫するような事態にならないよう万全の事業計画が不可欠です。そのため、現在地方創生の補助金などの活用を含め、事業性調査の実施、施設整備事業の基本構想の策定、基本構想に基づく実施計画の策定等を検討しています。

なお、現時点では、町長としての3期目の政策構想の段階であって、これから具体化している過程です。